

第40回法政大学多摩キャンパスコンサート

伊藤 悠貴 & 三船 優子

<チェロ>

<ピアノ>



©T. Tairadate

PROGRAM

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第1番  
カザルス：鳥の歌（伊藤悠貴編）  
サン＝サーンス：「動物の謝肉祭」より  
“白鳥”  
ショパン：小犬のワルツ、英雄ポロネーズ  
ドビュッシー：月の光  
ガーシュイン：ラブソディ・イン・ブルー  
ほか  
※曲目・曲順が変更になる場合がございます



©Akira Muto

2021年12月4日（土）

開演14：00（終演予定16：00）

法政大学多摩キャンパス16号館EGG DOME5階ホール

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より来場者数を大幅に制限して実施します

チケット 事前応募制 約70名様をご招待（入場無料）  
発送 11月下旬予定（11月24日までにチケット到着予定）  
応募者多数の場合は厳正な抽選の上、発送をもって当選の発表とさせていただきます。

応募方法 ①郵便番号・住所、②電話番号、③氏名（ふりがな）、④来場人数（最大2名まで）を  
明記の上、FAXまたは官製はがきにて（1人1枚（2名分）限り）。  
●応募締切 11月17日（水）必着  
●応募先 FAX 042-783-2043  
官製はがき 〒194-0298（住所不要）法政大学多摩キャンパスコンサートN係

注意事項 未就学のお子様の入場はできません。

お問合せ 法政大学多摩事務部多摩事務課総務担当 ☎042-783-2060

## 伊藤 悠貴 Yuki Ito (Cello)

15歳で渡英。21歳でブラームス国際コンクール、ウインザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝。以来、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする国内外の主要オーケストラ、小澤征爾のもと特別結成されたオザワ祝典合奏団、また多くの著名指揮者と共演。

ラフマニノフ作品、イギリス音楽の研究をライフワークとし、自らによる多数のチェロ版編曲を含むその演奏は、V.アシュケナージ、J.ロイド・ウェバーからも共演を通じて称賛されている。リサイタルはロンドンのウイグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホールをはじめ世界各地で行う他、ウインザー、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど国内外の音楽祭に客演。レコーディング活動も活発で、これまでにキングレコード他から4枚のアルバムをリリース。

また指揮者としても国内外で活動し、2013年にロンドンでナイトブリッジ管弦楽団を創設。2016年には日本・アンゴラ外交関係樹立40周年記念事業としてカメラータ・ルアンダを指揮し、アフリカのオーケストラ史上初となる日本ツアーを成功に導いた。その他、柳慧「龍笛とチェロのための音楽」、雁部一浩「ロマンス」を含む新作の初演、S.ザハーロワ、I.サレンコなどのバレリーナとの共演、作曲、文筆、大学講座、またマスメディアにも多く出演するなど、活動は多岐にわたる。倉田澄子、A.ボヤールスキイ、D.ゲリンガス各氏に師事。英国王立音楽大学首席卒業。第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



©Hideki Shiozawa



©Akira Muto

左) 伊藤 悠貴 右) 三船 優子

## 三船 優子 Yuko Mifune (Piano)

幼少期をNYで過ごし、市原光子、ジェローム・ローエンタールに師事。帰国後、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子に師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学を首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院へ留学、マーティン・キャンニンに師事。91年にアメリカデビューを果たし、L.A. Timesにて絶賛、クラシックラジオ局WQXRにて全米放送、高評を得る。同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール、ジュリアードソリストオーディションで優勝、卒業記念コンサートをソリストとして飾る。

帰国後は、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。モスクワ交響楽団、パリ・ギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団等との日本ツアーをはじめ、内外数々の主要オーケストラと共演。

ラジオのパーソナリティ、また6年間に亘りNHK-BS「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、メディアでも活躍。これまでにアルバムも多数発表、いずれも特選盤となる。DVD付きピアノ教則本の監修をはじめ、幼児教育にも録音やワークショップ等で積極的に活動。異ジャンルのアーティストとのコラボレーションも多数行なう。

2014年よりドラム・パーカッションの堀越彰と「最小にして最大のオーケストラ」と称するクラシックユニットOBSESSIONで新境地を開き、レコーディング、海外公演、アウトリーチなどで新たなファン層を広げる。

バロックから現代作品まで幅広いレパートリーをもち、シャープなタッチからは、気品と色彩感にあふれた音色が放たれる。華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了しつづける、日本を代表するピアニストのひとりである。

京都市立芸術大学准教授。